

平成25年度
とちち帯広空港利用者アンケート
報告書（夏期分）

平成25年11月
帯広市商工観光部空港事務所

■アンケート調査の概要

とちぎ帯広空港利用者アンケート調査（夏期調査）

＜実施期間＞

平成25年7月25日～7月31日

＜実施時間＞

午前8時30分から午後8時30分まで
※実施当日の帯広出発便（初便から最終便まで）

＜対象者＞

帯広発東京行き of 全便における利用者
配布枚数 1,000枚

＜調査方法＞

実施場所での即時回収

＜回収率＞

97.6%

■目次

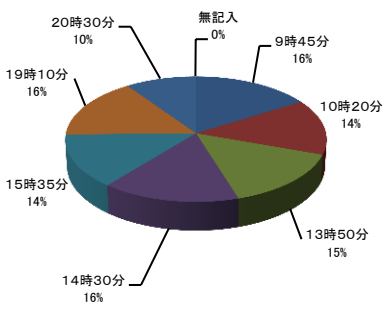
1. アンケート対象者の属性	2
2. 調査対象者の居住地	4
3. 利用目的	5
4. アウトバウンドの利用状況	6
5. インバウンドの利用状況	7
6. とちぎ帯広空港までの交通機関	8
7. 自家用車を選んだ理由	9
8. 新たに就航を希望する路線	10
9. 利用する空港を選ぶ際に重視すること	11
10. とちぎ帯広空港の利用しづらいと思うこと	12
11. とちぎ帯広空港の駐車場利用	13

1. アンケート対象者の属性 平成25年度（夏期）

平成24年度（夏期）

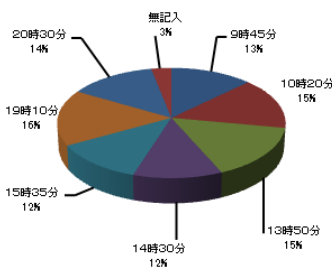
- 出発時刻
- 利用航空会社
- 性別
- 年齢（世代）
- 職業

1-a 出発時刻



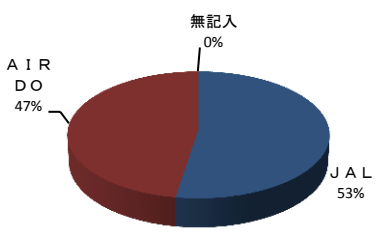
選択肢	回答数	構成率
9時45分	157	16.1%
10時20分	140	14.3%
13時50分	144	14.8%
14時30分	153	15.7%
15時35分	135	13.8%
19時10分	153	15.7%
20時30分	94	9.6%
無記入	0	0.0%
計	976	100.0%

1-a 出発時刻



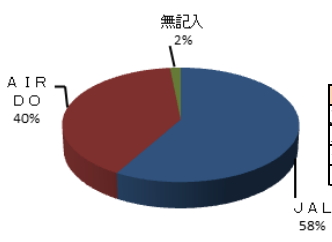
選択肢	回答数	構成率
9時45分	185	12.8%
10時20分	219	15.1%
13時50分	224	15.5%
14時30分	168	11.6%
15時35分	173	11.9%
19時10分	238	16.4%
20時30分	196	13.5%
無記入	45	3.1%
計	1,448	100.0%

1-b 利用航空会社



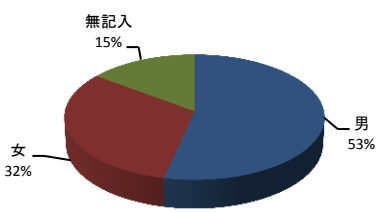
選択肢	回答数	構成率
JAL	513	52.6%
AIR DO	463	47.4%
無記入	0	0.0%
計	976	100.0%

1-b 利用航空会社



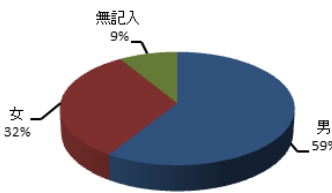
選択肢	回答数	構成率
JAL	844	58.3%
AIR DO	581	40.1%
無記入	23	1.6%
計	1,448	100.0%

1-c 性別



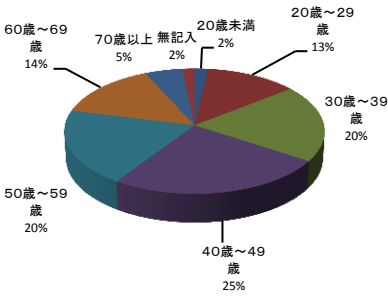
選択肢	回答数	構成率
男	522	53.5%
女	310	31.8%
無記入	144	14.8%
計	976	100.0%

1-c 性別



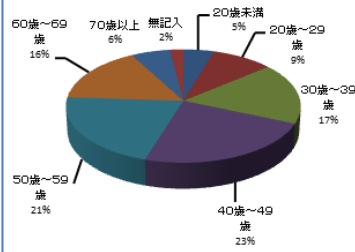
選択肢	回答数	構成率
男	855	59.0%
女	465	32.1%
無記入	128	8.8%
計	1,448	100.0%

1-d 年齢



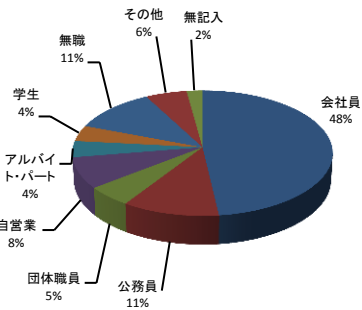
選択肢	回答数	構成率
20歳未満	18	1.8%
20歳~29歳	122	12.5%
30歳~39歳	194	19.9%
40歳~49歳	245	25.1%
50歳~59歳	191	19.6%
60歳~69歳	140	14.3%
70歳以上	50	5.1%
無記入	16	1.6%
計	976	100.0%

1-d 年齢



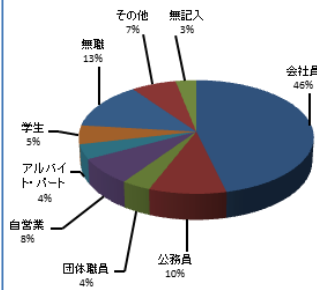
選択肢	回答数	構成率
20歳未満	67	4.6%
20歳~29歳	135	9.3%
30歳~39歳	253	17.5%
40歳~49歳	339	23.4%
50歳~59歳	306	21.1%
60歳~69歳	233	16.1%
70歳以上	86	5.9%
無記入	29	2.0%
計	1,448	100.0%

1-e 職業



選択肢	回答数	構成率
会社員	470	48.2%
公務員	108	11.1%
団体職員	51	5.2%
自営業	78	8.0%
アルバイト・パート	41	4.2%
学生	40	4.1%
無職	112	11.5%
その他	55	5.6%
無記入	21	2.2%
計	976	100.0%

1-e 職業



選択肢	回答数	構成率
会社員	669	46.2%
公務員	142	9.8%
団体職員	53	3.7%
自営業	110	7.6%
アルバイト・パート	61	4.2%
学生	77	5.3%
無職	192	13.3%
その他	99	6.8%
無記入	45	3.1%
計	1,448	100.0%

○平成25年度の傾向

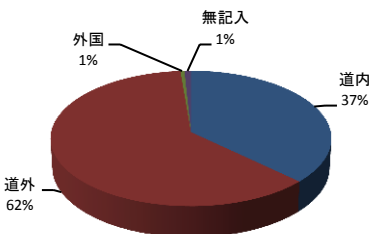
- ・利用者の年齢構成は、40歳代を中心として30歳~59歳に集中しており、65%を占めた。
- ・職業別では、会社員が最も高く48%となっており、その他については分散傾向にある。

○平成24年度との比較

- ・利用者の年齢構成及び職業別に大きな変化はなかった。

2. 調査対象者の居住地 平成25年度（夏期）

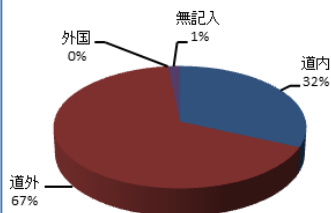
2-a 道内外及び外国の分類



選択肢	回答数	構成率
道内	362	37.1%
道外	601	61.6%
外国	5	0.5%
無記入	8	0.8%
計	976	100.0%

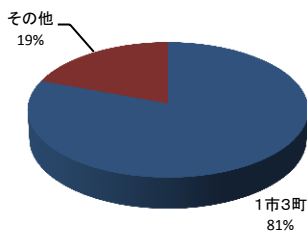
平成24年度（夏期）

2-a 道内外及び外国の分類



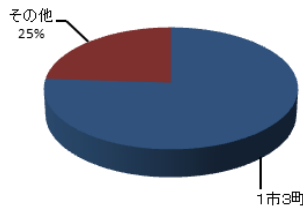
選択肢	回答数	構成率
道内	465	32.1%
道外	967	66.8%
外国	3	0.2%
無記入	13	0.9%
計	1,448	100.0%

2-b アウトバウンド利用（道内居住）者の居住市町村



選択肢	回答数	構成率
帯広市	197	54.4%
幕別町	32	8.8%
芽室町	32	8.8%
音更町	31	8.6%
池田町	10	2.8%
上士幌町	6	1.7%
中札内村	6	1.7%
士幌町	5	1.4%
広尾町	4	1.1%
広尾町	3	0.8%
更別村	3	0.8%
本別町	3	0.8%
足寄町	3	0.8%
鹿追町	3	0.8%
清水町	2	0.6%
新得町	2	0.6%
豊頃町	1	0.3%
根室市	1	0.3%
別海町	1	0.3%
深川市	1	0.3%
小樽市	1	0.3%
無記入	15	4.1%
計	362	100.0%

2-b アウトバウンド利用者の居住市町村



選択肢	回答数	構成率
帯広市	242	52.0%
音更町	58	12.5%
幕別町	29	6.2%
芽室町	20	4.3%
池田町	15	3.2%
中札内村	11	2.4%
鹿追町	10	2.2%
本別町	10	2.2%
清水町	9	1.9%
広尾町	8	1.7%
新得町	8	1.7%
士幌町	6	1.3%
上士幌町	6	1.3%
足寄町	5	1.1%
札幌市	5	1.1%
大樹町	5	1.1%
豊頃町	3	0.6%
浦幌町	2	0.4%
鶴居村	1	0.2%
別海町	1	0.2%
更別町	1	0.2%
えりも町	1	0.2%
北見市	1	0.2%
浦河町	1	0.2%
北広島市	1	0.2%
無記入	6	1.3%
計	465	100.0%

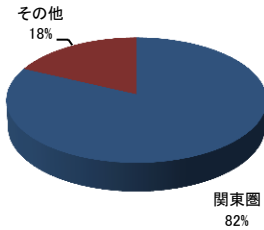
○平成25年度の傾向

- ・利用者全体の62%がインバウンド利用であるのに対し、アウトバウンドの利用は37%にとどまった。
- ・アウトバウンドの居住地別では、帯広市、音更町、幕別町、芽室町の1市3町で81%になった。

○平成24年度との比較

- ・居住地の構成比率は、前年と比較し、大きな変化はなかった。

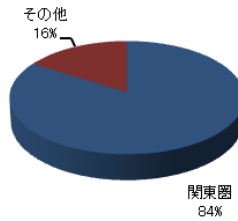
2-c インバウンド利用（道外等居住）者の居住都府県



※関東圏（首都圏1都7県）

選択肢	回答数	構成率
東京都※	194	32.0%
神奈川県※	112	18.5%
埼玉県※	82	13.5%
千葉県※	68	11.2%
茨城県※	28	4.6%
静岡県	16	2.6%
長野県	14	2.3%
大阪府	10	1.7%
栃木県※	9	1.5%
広島県	8	1.3%
宮崎県	7	1.2%
兵庫県	7	1.2%
福島県	5	0.8%
愛媛県	4	0.7%
山形県	3	0.5%
福岡県	3	0.5%
京都府	3	0.5%
岡山県	3	0.5%
愛知県	3	0.5%
香川県	2	0.3%
滋賀県	2	0.3%
山梨県※	2	0.3%
石川県	2	0.3%
熊本県	2	0.3%
新潟県	1	0.2%
三重県	1	0.2%
沖縄県	1	0.2%
高知県	1	0.2%
青森県	1	0.2%
長崎県	1	0.2%
和歌山県	1	0.2%
海外	5	0.8%
無記入	5	0.8%
計	606	100.0%

2-c インバウンド利用者の居住都府県



※関東圏（首都圏1都7県）

選択肢	回答数	構成率
東京都※	314	32.5%
神奈川県※	174	18.0%
千葉県※	126	13.0%
埼玉県※	122	12.6%
茨城県※	31	3.2%
群馬県※	27	2.8%
大阪府	20	2.1%
静岡県	18	1.9%
栃木県※	15	1.6%
広島県	13	1.3%
長野県	12	1.2%
愛知県	11	1.1%
福岡県	7	0.7%
福島県	7	0.7%
山口県	7	0.7%
京都府	6	0.6%
愛媛県	6	0.6%
山梨県※	5	0.5%
鹿児島県	5	0.5%
広島県	5	0.5%
宮崎県	5	0.5%
岡山県	4	0.4%
滋賀県	3	0.3%
香川県	3	0.3%
島根県	3	0.3%
岐阜県	3	0.3%
奈良県	3	0.3%
徳島県	2	0.2%
熊本県	2	0.2%
山形県	1	0.1%
長崎県	1	0.1%
岩手県	1	0.1%
沖縄県	1	0.1%
石川県	1	0.1%
福井県	1	0.1%
新潟県	1	0.1%
三重県	1	0.1%
計	967	100.0%

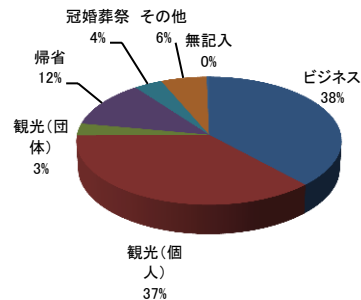
○平成25年度の傾向

・インバウンド利用者は、関東圏の比率が高く、82%を占めた。

○平成24年度との比較

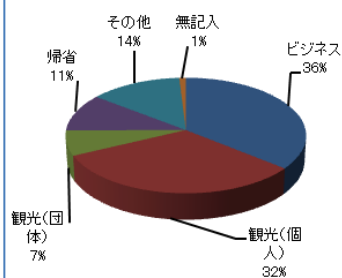
・インバウンド利用とアウトバウンド利用の比率は前年とほぼ同様の結果となった。

3. 利用目的 平成25年度（夏期）



選択肢	回答数	構成率
ビジネス	372	38.1%
観光(個人)	358	36.7%
観光(団体)	30	3.1%
帰省	116	11.9%
冠婚葬祭	37	3.8%
その他	60	6.1%
無記入	3	0.3%
計	976	100.0%

平成24年度（夏期）



選択肢	回答数	構成率
ビジネス	519	35.8%
観光(個人)	464	32.0%
観光(団体)	102	7.0%
帰省	153	10.6%
その他	196	13.5%
無記入	14	1.0%
計	1,448	100.0%

○平成25年度の傾向

・観光利用（個人・団体）が40%となっており、ビジネス利用の38%を上回った。

○平成24年度との比較

・観光全体の割合に変化はなかったが、個人の割合が増加した。

4.アウトバウンドの利用状況 平成25年度（夏期） （帯広空港を利用する 道内 居住者の動き）

4-a 往路用務先

選択肢	回答数	構成率
関東	280	73.5%
中部	7	1.8%
東北	7	1.8%
北陸	4	1.0%
近畿	15	3.9%
中国	6	1.6%
四国	6	1.6%
九州・沖縄	33	8.7%
海外	15	3.9%
無記入	8	2.1%
計	381	100.0%

4-b 往路最終到着空港

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	298	81.9%
大分空港	13	3.6%
伊丹空港	8	2.2%
那覇空港	7	1.9%
福岡空港	7	1.9%
松山空港	2	0.5%
鹿児島空港	2	0.5%
石垣空港	2	0.5%
庄内空港	1	0.3%
成田空港	1	0.3%
関西空港	1	0.3%
岡山空港	1	0.3%
出雲空港	1	0.3%
広島空港	1	0.3%
山口宇部空港	1	0.3%
徳島空港	1	0.3%
高松空港	1	0.3%
高知空港	1	0.3%
北九州空港	1	0.3%
富崎空港	1	0.3%
海外空港	13	3.6%
計	364	100.0%

※往路最終到着空港の「無記入」は本表には含まない。

4-c 復路予定区間

選択肢	回答数	構成率
東京→帯広	324	87.8%
その他	45	12.2%
計	369	100.0%



4-c-① その他の内訳 (出発空港)

選択肢	回答数	構成率
大分空港	9	26.5%
伊丹空港	5	14.7%
福岡空港	5	14.7%
羽田空港	3	8.8%
那覇空港	3	8.8%
岡山空港	2	5.9%
庄内空港	1	2.9%
関西空港	1	2.9%
高知空港	1	2.9%
出雲空港	1	2.9%
富崎空港	1	2.9%
石垣空港	1	2.9%
海外空港	1	2.9%
計	34	100.0%

※復路予定区間「その他」の中の「無記入」は本表には含まない。

4-c-② その他の内訳 (到着空港)

選択肢	回答数	構成率
帯広空港	28	82.4%
新千歳空港	6	17.6%
計	34	100.0%

※復路予定区間「その他」の中の「無記入」は本表には含まない。

平成24年度（夏期）

4-a 往路用務先

選択肢	回答数	構成率
関東	350	75.3%
中部	15	3.2%
東北	2	0.4%
北陸	16	3.4%
近畿	12	2.6%
中国	12	2.6%
四国	10	2.2%
九州・沖縄	26	5.6%
海外	15	3.2%
無記入	7	1.5%
計	465	100.0%

4-b 往路最終到着空港

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	367	81.0%
伊丹空港	9	2.0%
那覇空港	9	2.0%
徳島空港	5	1.1%
富山空港	5	1.1%
出雲空港	4	0.9%
成田空港	4	0.9%
長崎空港	4	0.9%
広島空港	3	0.7%
高松空港	3	0.7%
大分空港	3	0.7%
岡山空港	2	0.4%
屋久島空港	2	0.4%
高知空港	2	0.4%
小松空港	2	0.4%
福岡空港	2	0.4%
関西空港	2	0.4%
熊本空港	2	0.4%
松山空港	2	0.4%
神戸空港	2	0.4%
鳥取空港	2	0.4%
米子空港	1	0.2%
徳之島空港	1	0.2%
海外	15	3.3%
計	453	100.0%

※往路最終到着空港の「無記入」は本表には含まない。

4-c 復路予定区間

選択肢	回答数	構成率
東京→帯広	393	90.1%
その他	43	9.9%
計	436	100.0%



4-c-① その他の内訳 (出発空港)

選択肢	回答数	構成率
伊丹空港	6	16.7%
羽田空港	5	13.9%
那覇空港	4	11.1%
関西空港	3	8.3%
小松空港	3	8.3%
富山空港	2	5.6%
屋久島空港	2	5.6%
大分空港	2	5.6%
その他	9	25.0%
計	36	100.0%

※復路予定区間「その他」の中の「無記入」は本表には含まない。

4-c-② その他の内訳 (到着空港)

選択肢	回答数	構成率
帯広空港	27	67.5%
新千歳空港	12	30.0%
釧路空港	1	2.5%
計	40	100.0%

※復路予定区間「その他」の中の「無記入」は本表には含まない。

○平成25年度の傾向

- 往路の最終到着空港は82%が羽田空港であり、羽田から他空港へ移動するのは18%となった。
- 用務先の74%は関東となっており、その他は分散傾向にある。
- 復路については、88%が「羽田空港ーとかち帯広空港」路線の利用を予定していた。

○平成24年度との比較

- ほぼすべての項目において、同様の傾向であった。

5. インバウンドの利用状況 平成25年度（夏期） （帯広空港を利用する 道外等 居住者の動き）

5-a 往路用務先（複数回答）

選択肢	回答数	構成率
帯広(十勝)方面	553	60.4%
旭川(富良野)方面	131	14.3%
釧路(阿寒)方面	65	7.1%
札幌(小樽)方面	64	7.0%
網走(知床)方面	43	4.7%
函館方面	14	1.5%
根室方面	14	1.5%
北見方面	11	1.2%
その他	13	1.4%
無記入	8	0.9%
計	916	100.0%

5-b 往路利用区間

選択肢	回答数	構成率
東京→帯広	390	64.4%
その他	216	35.6%
計	606	100.0%



5-b-① その他の内訳 (到着空港)

選択肢	回答数	構成率
新千歳空港	98	46.9%
旭川空港	54	25.8%
釧路空港	20	9.6%
函館空港	12	5.7%
女満別空港	11	5.3%
帯広空港	9	4.3%
紋別空港	2	1.0%
中標津空港	2	1.0%
稚内空港	1	0.5%
計	209	100.0%

※往路予定区間「その他」の中の「無記入」は本表には含まない。

5-b-② その他の内訳 (出発空港)

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	187	89.5%
伊丹空港	12	5.7%
福岡空港	2	1.0%
宮崎空港	2	1.0%
仙台空港	1	0.5%
成田空港	1	0.5%
神戸空港	1	0.5%
高松空港	1	0.5%
松山空港	1	0.5%
那覇空港	1	0.5%
計	209	100.0%

※往路予定区間「その他」の中の「無記入」は本表には含まない。

5-c 復路最終到着空港

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	557	91.9%
その他	49	8.1%
計	606	100.0%



5-c-① その他の内訳

選択肢	回答数	構成率
伊丹空港	19	42.2%
宮崎空港	5	11.1%
松山空港	4	8.9%
岡山空港	3	6.7%
福岡空港	3	6.7%
庄内空港	2	4.4%
小松空港	2	4.4%
高松空港	2	4.4%
熊本空港	2	4.4%
青森空港	1	2.2%
高知空港	1	2.2%
那覇空港	1	2.2%
計	45	100.0%

※復路最終到着空港「その他」の中の「無記入」は本表には含まない。

平成24年度（夏期）

5-a 往路用務先（複数回答）

選択肢	回答数	構成率
帯広方面	857	58.9%
釧路方面	146	10.0%
旭川方面	138	9.5%
札幌方面	101	6.9%
網走方面	98	6.7%
根室方面	55	3.8%
北見方面	36	2.5%
函館方面	13	0.9%
その他	5	0.3%
無記入	6	0.4%
計	1,455	100.0%

5-b 往路利用区間

選択肢	回答数	構成率
東京→帯広	615	63.8%
その他	349	36.2%
計	964	100.0%



5-b-① その他の内訳 (到着空港)

選択肢	回答数	構成率
新千歳空港	137	43.2%
釧路空港	61	19.2%
旭川空港	53	16.7%
中標津空港	32	10.1%
女満別空港	15	4.7%
函館空港	12	3.8%
稚内空港	7	2.2%
計	317	100.0%

※往路予定区間「その他」の中の「無記入」は本表には含まない。

5-b-② その他の内訳 (出発空港)

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	289	85.3%
伊丹空港	11	3.2%
関西空港	6	1.8%
中部国際空港	6	1.8%
宇都宮空港	3	0.9%
宮崎空港	3	0.9%
高松空港	3	0.9%
岡山空港	2	0.6%
松山空港	2	0.6%
広島空港	2	0.6%
鹿児島空港	2	0.6%
徳島空港	2	0.6%
小松空港	1	0.3%
庄内空港	1	0.3%
新潟空港	1	0.3%
成田空港	1	0.3%
青森空港	1	0.3%
仙台空港	1	0.3%
大阪空港	1	0.3%
福岡空港	1	0.3%
計	339	100.0%

※往路予定区間「その他」の中の「無記入」は本表には含まない。

5-c 復路最終到着空港

選択肢	回答数	構成率
羽田空港	861	92.7%
その他	68	7.3%
計	929	100.0%



5-c-① その他の内訳

選択肢	回答数	構成率
伊丹空港	29	46.8%
山口宇部空港	5	8.1%
宮崎空港	3	4.8%
徳島空港	3	4.8%
岡山空港	3	4.8%
出雲空港	3	4.8%
広島空港	2	3.2%
鹿児島空港	2	3.2%
福岡空港	2	3.2%
長崎空港	2	3.2%
高松空港	2	3.2%
名古屋空港	1	1.6%
新潟空港	1	1.6%
松山空港	1	1.6%
神戸空港	1	1.6%
庄内空港	1	1.6%
小松空港	1	1.6%
計	62	100.0%

○平成25年度の傾向

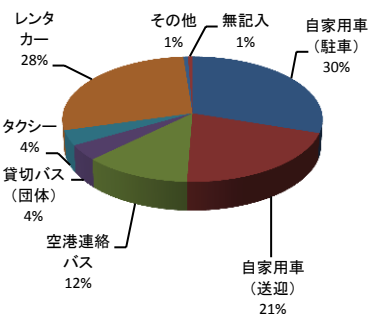
- ・インバウンド利用者の用務先は、60%が帯広方面であった。
- ・往路で利用した区間の64%は「羽田→とちかち帯広」路線であり、それ以外では「羽田-新千歳」「羽田-旭川」路線が多い。
- ・羽田空港から他の航空路線へ乗り継ぐ利用者は、8%となった。

○平成24年度との比較

- ・往路で「羽田→帯広」路線を利用する比率に変化は見られなかった。

6. とちぎ帯広空港までの交通機関 平成25年度（夏期）

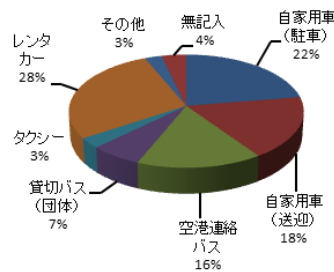
6-a 空港までの利用交通機関



選択肢	回答数	構成率
レンタカー	274	28.1%
自家用車(駐車)	293	30.0%
自家用車(送迎)	201	20.6%
空港連絡バス	119	12.2%
貸切バス(団体)	39	4.0%
タクシー	38	3.9%
その他	6	0.6%
無記入	6	0.6%
計	976	100.0%

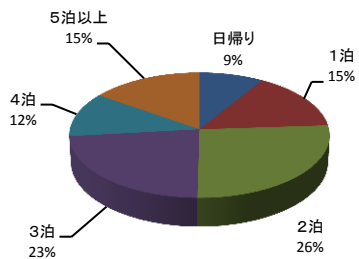
平成24年度（夏期）

6-a 空港までの利用交通機関



選択肢	回答数	構成率
レンタカー	405	28.0%
自家用車(駐車)	325	22.4%
自家用車(送迎)	259	17.9%
空港連絡バス	230	15.9%
貸切バス(団体)	95	6.6%
タクシー	43	3.0%
その他	37	2.6%
無記入	54	3.7%
計	1,448	100.0%

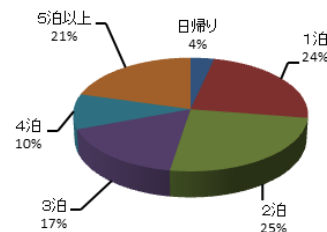
6-b 車の駐車泊数



選択肢	回答数	構成率
日帰り	19	8.8%
1泊	33	15.2%
2泊	57	26.3%
3泊	50	23.0%
4泊	25	11.5%
5泊以上	33	15.2%
計	217	100.0%

※上記「自家用車(駐車)」中の「無記入」は本表には含めない。

6-b 車の駐車泊数



選択肢	回答数	構成率
日帰り	11	3.5%
1泊	74	23.9%
2泊	78	25.2%
3泊	52	16.8%
4泊	31	10.0%
5泊以上	64	20.6%
計	310	100.0%

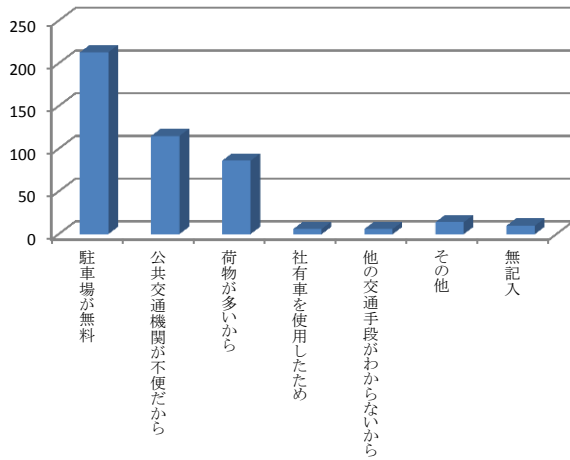
○平成25年度の傾向

- ・駐車、送迎を含めた自家用車利用が最も高く、51%を占めた。
- ・レンタカーでの利用も高く、28%という結果となった。
- ・駐車泊数は2泊が多く、1泊から3泊する割合は65%となった。

○平成24年度との比較

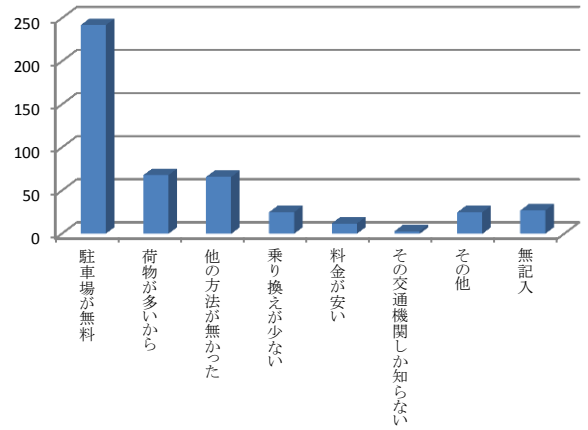
- ・利用する交通機関の自家用車利用の比率が、11ポイント増加した。

7. 自家用車(駐車)を選んだ理由 平成25年度(夏期) (複数回答)



選択肢	回答数	構成率
駐車場が無料	213	47.3%
公共交通機関が不便だから	115	25.6%
荷物が多いから	86	19.1%
社有車を使用したため	6	1.3%
他の交通手段がわからないから	6	1.3%
その他	14	3.1%
無記入	10	2.2%
計	450	100.0%

平成24年度(夏期) (複数回答)



選択肢	回答数	構成率
駐車場が無料	242	51.7%
荷物が多いから	68	14.5%
他の方法が無かった	66	14.1%
乗り換えが少ない	25	5.3%
料金が安い	12	2.6%
その交通機関しか知らない	3	0.6%
その他	25	5.3%
無記入	27	5.8%
計	468	100.0%

※6-a空港までの利用交通機関の設問で(駐車)と回答された方を対象したもの。

○平成25年度の傾向

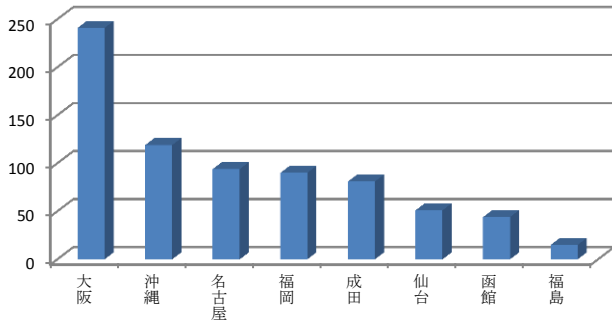
- ・「駐車場が無料」であることを選択理由とする利用者が47%となった。

○平成24年度との比較

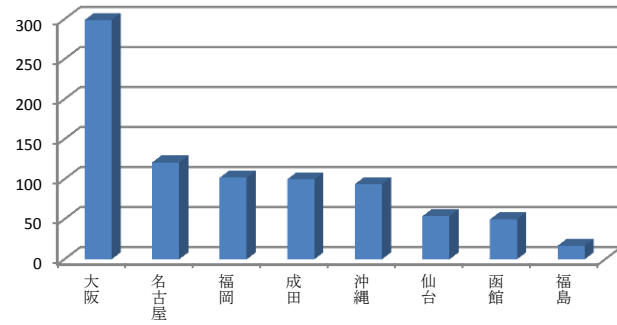
- ・前年度とほぼ同様の傾向であった。

8. 新規就航を望む路線

平成25年度（夏期）
（複数回答）



平成24年度（夏期）（複数回答）



8-a 新規就航希望路線

選択肢	回答数	構成率
大阪	241	17.9%
沖縄	119	8.8%
名古屋	94	7.0%
福岡	90	6.7%
成田	81	6.0%
仙台	51	3.8%
函館	44	3.3%
福島	15	1.1%
長崎	12	0.9%
宮崎	12	0.9%
広島	11	0.8%
北九州	11	0.8%
高知	10	0.7%
高松	9	0.7%
松山	9	0.7%
新潟	7	0.5%
富山	7	0.5%
小松	6	0.4%
熊本	6	0.4%
岡山	4	0.3%
出雲	4	0.3%
大分	2	0.1%
なし	336	25.0%
その他	40	3.0%
無記入	125	9.3%
計	1346	100.0%



8-a-① その他の内訳

選択肢	回答数	構成率
茨城	13	32.5%
静岡	8	20.0%
松本	5	12.5%
その他	14	35.0%
計	40	100.0%

8-a 新規就航希望路線

選択肢	回答数	構成率
大阪	299	16.3%
名古屋	121	6.6%
福岡	102	5.6%
成田	100	5.5%
沖縄	94	5.1%
仙台	54	2.9%
函館	50	2.7%
福島	17	0.9%
広島	16	0.9%
松山	16	0.9%
熊本	13	0.7%
長崎	11	0.6%
北九州	10	0.5%
新潟	9	0.5%
小松	9	0.5%
岡山	9	0.5%
高松	8	0.4%
宮崎	8	0.4%
富山	8	0.4%
出雲	7	0.4%
なし	506	27.6%
その他	62	3.4%
無記入	305	16.6%
計	1,834	100.0%



8-a-① その他の内訳

選択肢	回答数	構成率
茨城	13	21.0%
静岡	10	16.1%
神戸	6	9.7%
その他	33	53.2%
計	62	100.0%

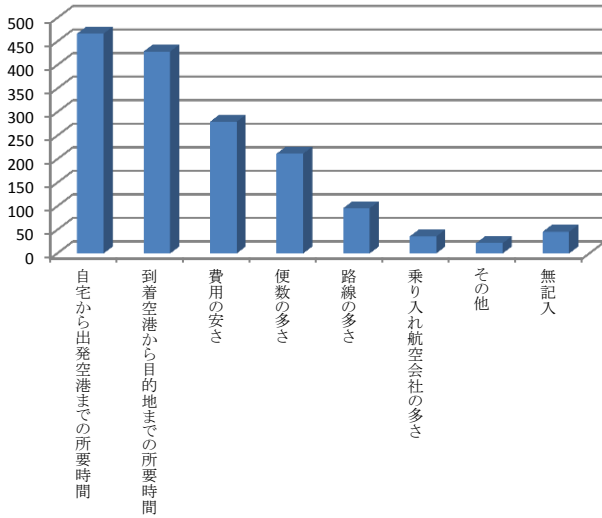
○平成25年度の傾向

- ・なしが25%であったが、新規就航を望む路線は大阪が多く、次いで沖縄、名古屋、福岡、成田の順となった。

○平成24年度との比較

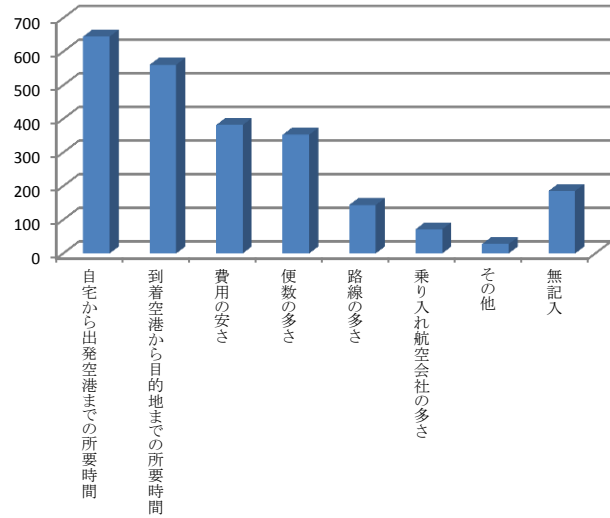
- ・就航希望の上位には大きな変化はなかった。

9. 空港を選ぶ際、重視すること 平成25年度（夏期） （複数回答）



選択肢	回答数	構成率
自宅から出発空港までの所要時間	467	29.4%
到着空港から目的地までの所要時間	429	27.0%
費用の安さ	280	17.6%
便数の多さ	212	13.4%
路線の多さ	96	6.0%
乗り入れ航空会社の多さ	36	2.3%
その他	22	1.4%
無記入	46	2.9%
計	1,588	100.0%

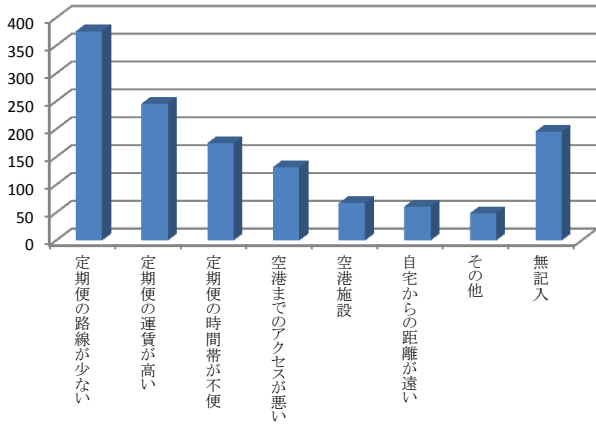
平成24年度（夏期）（複数回答）



選択肢	回答数	構成率
自宅から出発空港までの所要時間	645	27.2%
到着空港から目的地までの所要時間	561	23.7%
費用の安さ	382	16.1%
便数の多さ	353	14.9%
路線の多さ	144	6.1%
乗り入れ航空会社の多さ	72	3.0%
その他	28	1.2%
無記入	186	7.8%
計	2,371	100.0%

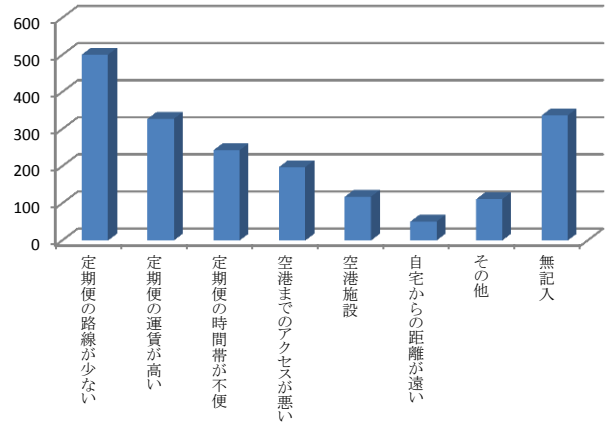
- 平成25年度の傾向
 - ・自宅や目的地までの所要時間、費用の安さ、便数の多さを重視する傾向が強い。
- 平成24年度との比較
 - ・前年度の結果から大きな変化はなかった。

10. 利用しづらいと思うところ 平成25年度（夏期）
（複数回答）



選択肢	回答数	構成率
定期便の路線が少ない	376	28.9%
定期便の運賃が高い	246	18.9%
定期便の時間帯が不便	175	13.4%
空港までのアクセスが悪い	132	10.1%
空港施設	67	5.1%
自宅からの距離が遠い	61	4.7%
その他	49	3.8%
無記入	196	15.1%
計	1,302	100.0%

平成24年度（夏期）（複数回答）



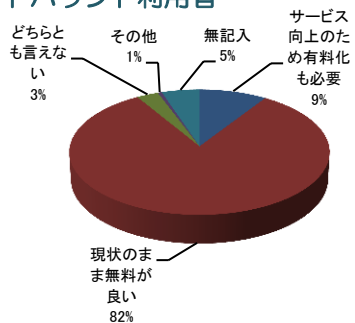
選択肢	回答数	構成率
定期便の路線が少ない	501	26.6%
定期便の運賃が高い	328	17.4%
定期便の時間帯が不便	243	12.9%
空港までのアクセスが悪い	198	10.5%
空港施設	118	6.3%
自宅からの距離が遠い	51	2.7%
その他	111	5.9%
無記入	337	17.9%
計	1,887	100.0%

- 平成25年度の傾向
 - ・路線の少なさや運賃の高さが多かった。
 - ・定期便の時間帯や空港までのアクセスの悪さを指摘する回答もあった。
- 平成24年度との比較
 - ・前年と比較して、大きな変化はなかった。

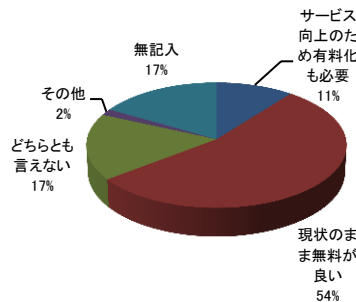
11. とちぎ帯広空港の駐車場利用

11-a 料金体系（アウトバウンド・インバウンド別）

アウトバウンド利用者



インバウンド利用者

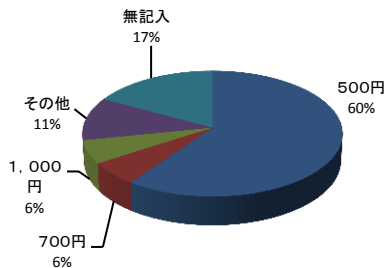


選択肢	回答数	構成率
サービス向上のため有料化も必要	34	9.2%
現状のまま無料が良い	303	82.1%
どちらとも言えない	11	3.0%
その他	2	0.5%
無記入	19	5.1%
計	369	100.0%

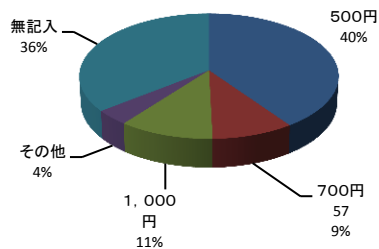
選択肢	回答数	構成率
サービス向上のため有料化も必要	64	10.5%
現状のまま無料が良い	328	54.0%
どちらとも言えない	104	17.1%
その他	10	1.6%
無記入	101	16.6%
計	607	100.0%

11-b 1日の最大利用料金として妥当と考える金額（アウトバウンド・インバウンド別）

アウトバウンド利用者



インバウンド利用者



選択肢	回答数	構成率
500円	221	59.9%
700円	22	6.0%
1,000円	22	6.0%
その他	41	11.1%
無記入	63	17.1%
計	369	100.0%

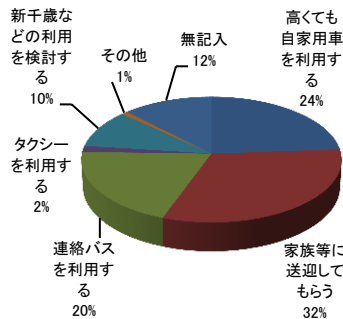
選択肢	回答数	構成率
500円	244	40.2%
700円	57	9.4%
1,000円	66	10.9%
その他	24	4.0%
無記入	216	35.6%
計	607	100.0%

その他の金額の分布状況（全体）

選択肢	回答数	構成率
0円	2	3.1%
100円	14	21.5%
200円	10	15.4%
300円	16	24.6%
その他	23	35.4%
計	65	100.0%

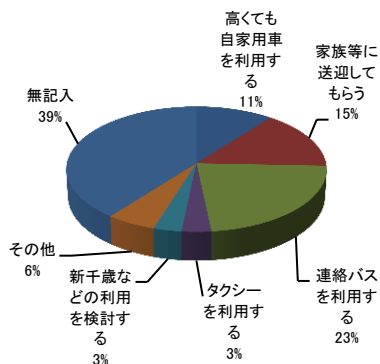
11-c 自分の想定よりも高額であった時の駐車場利用（アウトバウンド・インバウンド別） （複数回答）

アウトバウンド利用者



選択肢	回答数	構成率
高くても自家用車を利用する	107	23.9%
家族等に送迎してもらう	142	31.7%
連絡バスを利用する	89	19.9%
タクシーを利用する	7	1.6%
新千歳などの利用を検討する	44	9.8%
その他	4	0.9%
無記入	55	12.3%
計	448	100.0%

インバウンド利用者

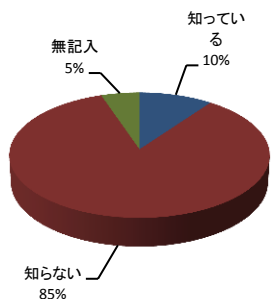


選択肢	回答数	構成率
高くても自家用車を利用する	69	10.5%
家族等に送迎してもらう	99	15.1%
連絡バスを利用する	149	22.7%
タクシーを利用する	22	3.4%
新千歳などの利用を検討する	21	3.2%
その他	37	5.6%
無記入	259	39.5%
計	656	100.0%

○平成25年度の傾向

- ・「有料化も必要」と考える利用者は、アウトバウンド、インバウンドともに10%程度であった。
- ・「無料化継続」を望む意見は、アウトバウンドでは8.2%を占めた。
- ・アウトバウンド利用者の2.4%が自分の想定よりも高額な駐車料金でも空港駐車場を利用すると考えていた。
- ・想定より高かった場合、10%のアウトバウンド利用者が他空港の利用を検討すると考えていた。

12.とちぎ帯広空港からの乗継割引路線の認知度



選択肢	回答数	構成率
知っている	98	10.0%
知らない	827	84.7%
無記入	51	5.2%
計	976	100.0%

○平成25年度の傾向

- ・「知っている」と回答した利用者が、10%と低い状況であった。